



市議会だより



市議会だより

市議会だより

本会議の支所への中継

各支所で、本会議一般質問の様子を中継しています。

議場での傍聴以外に支所でもご覧いただけますので、日程をご確認のうえ支所においでください。

議会日誌

4月

23日 行財政改革調査特別委員会

24日 建設経済常任委員会

27日 防災対策調査特別委員会

クリーンセンター問題調査研究会

5月

2日 議会運営委員会
全員協議会

14日 議会広報委員会

15日 まちづくり調査特別委員会協議会

16日 全員協議会
議会広報委員会

17日 総務常任委員会

教育民生常任委員会研修

4月16日・17日

神戸市・京都府南丹市

資源リサイクルセンター

こつべ環境未来館

資源循環型社会の実現を目指し、ごみの減量と再資源化を図るため、神戸市が平成16年に竣工させたこの施設では、まとめて収集された缶・びん・ペットボトルを自動選別し、圧縮して再生工場へ送り出している。

住民による分別収集は、わが三豊市の方が進んでいるが、神戸市の「一般廃棄物処理基本計画」の具体的な説明の中で、ごみの減量化と資源化を目指す上での『基本』を再認識することができた。

また、隣接する環境未来館は、工夫された展示内容によって、地球環境について幅広い層が学習でき、環境意識の啓発に役立てられていた。

カンポリサイクルプラザ

この施設に導入されている「有機性廃棄物から新エネルギーを創出するための処理システム」は、生ごみ・食品廃棄物・草木等をメタン発酵させ、バイオガスを回収するものである。回収したガスはガスエンジン発電に利用したり、高純度のメ

タンガスに精製してガス自動車の燃料としても利用されている。また、残渣は発酵熟成させ堆肥化して有効利用するという、エネルギーのリサイクルが実現されていた。

社会の膨大な資源の消費が、資源枯渇や環境汚染という深刻な問題を引き起こし、その見直しが迫られている今、資源を循環させるこのシステムは、消費から循環へ」というテーマを投げかけているように感じた。



カンポリサイクルプラザ

防災対策調査特別委員会研修

4月27日

高瀬町・山本町防災センター

当委員会では、近い将来発生が危惧される東南海・南海地震対策を市の重要課題として位置づけ、市内3カ所の防災センターのうち高瀬町・山本町防災センターにおける防災資材の備蓄状況を視察した。高瀬町防災センターで非常時

における現物備蓄として保管されている主な物は、乾燥米飯900食・乾パン550食・毛布160枚・シート60枚・投光機7台・救急箱(20人用)2箱・発電機7台である。

山本町防災センターでは、飲料水624リットル・乾燥米飯500食・乾パン480食・毛布220枚・ポリタンク30本・仮設トイレ5基・発電機2台・テント5張・投光機3台・タオル400枚・シート10枚・災害時に必要な工具等が備蓄されていた。

仮設トイレ等の備蓄数量が全体的に少ない点が今後の地震対策課題として考えられる。また、防災センターのない町においても、非常時における現物備蓄設置場所の早急な整備が望まれる。今回、三豊市内の防災センターを視察し、今後本格的に地震対策を講じていく必要を痛感した研修であった。



山本町防災センター

三豊市議会だよりの発行・編集は

三豊市議会・議会広報委員会

〒769-1593 三豊市豊中町本山甲201-1 62-1135